

第6回秋田市マイタウン・バス南部線 河辺地域運行協議会議事要旨

会 長	挨拶 議事に入る。議事の(1)および(2)について一括して事務局から説明願う。
事 務 局	(資料に沿って説明)
会 長	意見や質問はないか。
委 員	路線バスからマイタウンバスに変わり、バスの大きさは小さくなったが、運行していただき感謝している。今後も利用していない方にも声をかけていき、少しでも利用者が増えていくよう努めていきたい。
委 員	コインバスとはどういう事業か。また、何歳以上が対象なのか。
事 務 局	コインバス事業は、70歳以上が対象となり、100円で中央交通およびマイタウン・バスどちらも乗車できるものである。なお、運賃の差額については、市の長寿福祉課で負担している。 昨年の10月から始めており、コインバス事業を利用するための証明書を河辺市民センターや各支所で発行している。市の広報などで周知を行っている。
委 員	コインバス事業について、PTAの集まりや何かの機会などで、年配の人にもっと宣伝していただきたい。
委 員	生活保護者は事業の対象にならないのか。
事 務 局	特に制限はない。
委 員	高齢者でも健康であれば自家用車を利用している方が多いためよくわからないと思う。バスの運行による問題は生じているのか。
委 員	最近、高齢者の死亡事故が増えており、平成30年には、65歳以上が40%を超えてくることから、この先を見据えて事業を進めていかなければならない。
委 員	バス利用者は増えているが、欠損額が増えているのが気になる。
委 員	欠損額を減らすためにも、空バスを走らせないようにしていきたい。
委 員	コインバスは河辺の老人クラブが最初に市に上申したものである。クラブ会

員であれば60歳以上、会員以外で65歳以上、河辺地区限定という内容の経緯から、その後、秋田市全体のコインバス事業となった。現在、バス利用者は増加しており、赤字が増えてもあきらめないでやって欲しい。

委員 河辺・雄和は学校の統廃合が進んでおり、通学距離が長くなる地域もあるが、スクールバスの利用について対象・対象外といった問題があるため、朝の通学時間帯の便を増やすなど、また小・中学生くらいまでは、ワンコインにして欲しい。

委員 福祉および教育委員会も含めて検討していきたい。

委員 ワンコインバスは、岩見温泉を利用する方や、市内まで行く方などに喜ばれているが、市民に浸透しきれていないと思う。この事業があることがわからない人がいる。

委員 朝と晩の1本ずつでいいから秋田駅まで走らせて欲しい。

委員 これまでも同様の要望があったが、中央交通との競合の問題がある。

委員 マイタウンバスは、イオンや日赤病院までの便があり、乗り継ぎになるが、路線バスが秋田駅まで走行している。

委員 イオンまで行くと乗り継ぎがたくさんある。

委員 河辺Bコースで予約が1人だと頼みづらいということがある。

委員 予約式は、何人も注文があると時間が拘束され、初めは面倒くさいという声があり、当初の利用者は51人だったが、現在では、250人の利用者となっている。一度予約した方であれば、バス停を把握出来るため、次の予約から時間のみ伝えてもらえれば対応できるようになっている。また、昨年秋から、傘の無料貸し出しなどのサービスを行っている。

会長 コインバスのPRをもっとしていけば利用者の増加に繋がるのではないかと思う。

委員 マイタウンバスで事故があった場合の補償は確立しているのか。

委員 保険にはきちんと入っている。また、ドライブレコーダーも外と中に付けて安全管理を徹底している。

会 長 本日の意見を事務局で検討してもらおうということで、他に何もありませんので、続いて議事(3)その他について、事務局から説明願う。

事 務 局 (資料に沿って説明)

会 長 事務局からの説明について意見や質問がないようなので、以上で本日の議事を終了する。

—協議会終了—